

「科学の軍事利用と科学者の抵抗」 レジюме

豊島耕一（元佐賀大学・理工・物理）
九大文系キャンパス，2016年10月7日

1. 防衛省からの大学への資金枠の拡大.

「軍事研究助成 18 倍 概算要求 6 億→110 億円 防衛省、産学応募増狙う」（東京新聞 2016 年 9 月 1 日）

「基礎研究」ならいいのか？ 「デュアルユース」

葉隠，聞書第一：「又学問者は，才智・弁口にて本体の臆病・欲心などを仕隠すもの也。人の見誤る所也。」

2. アメリカのトップ2大学の例

Leslie の “The Cold War and American Science” は MIT とスタンフォードの軍学共同の歴史を詳述

3. アイゼンハワーの2つの警告

軍産複合体の支配と，科学技術エリートへの支配

4. 戦後の日本の学界の姿勢

戦後の学術会議の声明(1949年，1950年)，物理学会の「決議三」（1967年）

5. 科学者，科学界による核兵器批判，抵抗（70年代まで）

戦中：マイトナー，ロートブラット

戦後：ラッセル-アインシュタイン宣言，パグウオッシュ，科学者京都会議

6. 科学者，専門家による新しい抵抗の形態

判事，検事らによる基地封鎖（ムートランゲン），ファスレーン 365 での Academic Blockade

7. NVDA (Non-violent Direct Action)

ファスレーン 365 日本チームの経験など

「行為によるプロパガンダ」と「道徳的柔術」

8. アメリカの道をたどらないためにはどうするか

8-1 「客観的」条件

「貧困化」への抵抗, 「経常費」の維持／個人の良心を発動させるための規範, 制度
／抵抗組織, ネットワーク

8-2 思想的条件

組織の意志と個人の良心／「基礎研究なら問題ない」という態度への批判／公開な
らいいのか

「軍組織に人間関係資本の蓄積を許さない」

学術会議会長私見項目 2 への批判

「個別的自衛権」の公認化の傾向への批判. 自衛戦争, 自衛隊肯定論と関わら
ざるを得ない. つまり, 武力によらない国家防衛の問題

9 さしあたって

学術会議 4 月総会での「科学界における九条改憲」の阻止

会員への働きかけ, 署名, 会議場前での行動

10 軍事研究禁止のグローバル化

軍事転用される技術を予測し, 事前に禁止する国際機構 (R.E.Spier ほか, *Science and Technology Ethics*, 2002 年, p.211-212.

筆者ブログ: 「ペガサス・ブログ」 <http://pegasus1.blog.so-net.ne.jp>

筆者ツイッター: <https://twitter.com/yamamoto2007>